



男女共同参画推進室 昭和キャンパス まゆだま広場

第1回 まゆだまランチ 報告書

日 時 : 平成26年5月16日(金) 12:00~13:00
場 所 : 昭和キャンパス まゆだま広場(附属病院内旧手術棟1階)
参 加 者 : 9名(教員4名、学生4名、事務職員1名)
永井、嶋田、佐藤、長安(室員)、小曾根 計14名

去る5月16日(金)、12時より昭和キャンパスまゆだま広場にて、「第1回まゆだまランチ」を開催しました。この催しは昭和キャンパスに在勤・在学の教職員と学生を対象に定期的なイベントとして企画したものです。第1回は『ロールモデルに聞く』と題して生体調節研究所准教授の佐藤美由紀先生に講師をお願いし、今までのご経歴や現在の子育てについてお話いただきました。

当日は初回にもかかわらず多数の方にご参加いただき、終始和やかな雰囲気の中で行われました。佐藤先生からはアメリカでの研究生活や、日本とアメリカのライフイベントに対する認識の違い、現在の子育てについての工夫など、日頃知ることのできない様々な経験を教えていただき、参加者の笑い声が絶えませんでした。

終了後も佐藤先生への質疑応答、参加者からライフサイクルやキャリアについていろいろな意見が飛び交い、話が尽きない大変楽しい1時間となりました。参加者のみなさんにとっても、自分自身のキャリアを考える良い機会となりました。



先生のお話真剣に聞き入る参加者の方々



◆◇参加者の感想◇◆（一部抜粋）

- 子育てをしながらも研究を犠牲にしないために、研究の効率を上げたり曜日によってタイムスケジュールを変えるなど試行錯誤されているということ、パートナーの協力を得るための細かな工夫や気遣いなど、確かにそれだけ出来れば、研究と子育てとは両立も可能かもしれないと思うことが出来ました。また、参加なさっている方のほとんどが研究や臨床でご活躍なさっている方ということで、それぞれのお話もとても実りのあるものでした。今回は本当にありがとうございました。参加された方はみなさん親切でとても居心地のいい時間でした。
- 今日お話を伺って、女性が働きながら育児をすることの難しさ、そしてそれをサポートするパートナーの重要さというものを改めて感じました。
- なかなかゆっくりお話を伺う機会がありませんでしたので、大変勉強になりました。また、お昼休みの時間でしたので参加しやすかったです。
- 育児と研究の両立には、そのための整った環境と周りの人々の協力が大事であるということや、実際の体験談なども聞くことができ、とても参考になりました。また、日本とアメリカの仕事や意識に対する違いが大きいということには驚きました。
- 家事育児を分業なさっていることや、パートナーにやってもらうことに対して、自分とやり方が違って、感謝の気持ちをもつことの大切さをお話なさっていましたが、わかっているけどできないことが多い私にとっては、とても参考になりました。このような機会先生方や研究者、学生さんのかたとお知り合いになれるとうれしいなと思っております。
- 佐藤先生の貴重な体験談を聞くことができ良かったです。さまざまな立場で出産や育児をみなさん乗り越えていると思うので、すべて自分にできるかどうか、当てはまるかどうかはわかりませんが、私も佐藤先生の **how to** を真似て、自分の目標も追って行けたらいいなと思いました。
- 同じ働く女性として全て共感できましたし、また真っ只中で経験している私としては本当にためになりましたし、逆に救われる思いでありました。今の日本の社会ではようやく働く女性や育児と両立しながら働く女性への理解などが確立されたと思います。しかし日本全体を見れば100%世の女性が自信を持って働きやすい社会だと言えるにはまだまだだだと思います。そのためには我々が筆頭に嫌なことも良いことも全て経験したことを活かして次世代の女性に繋げて行けたらと願います。

・高校生の時に女性研究者の講演を聞く機会でしたが、お話しくださる方の目を見ることのできる距離で、相槌を打ちながら、会話をしているような雰囲気の中で拝聴できるところがまゆだまの良いところだと思いました。

また、参加されていた多くの女性研究者の方たちにお会いできたことが、私にとってとても刺激になりました。女性の社会進出という観点で、研究者になった経緯などを聞いてみたいです。



話の尽きない楽しいひとときでした

国立大学法人群馬大学 男女共同参画推進室
昭和キャンパス まゆだま広場

附属病院内 1階 旧手術棟旧同愛会事務所前

TEL:(内) 4 1 4 4

MAIL:kyodo-sankaku@jimu.gunma-u.ac.jp

HP:http://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp